

境港市長「早期改定を目指す」

島根原発安全協定

境港市は31日、島根原発（松江市）2、3号機の稼働を巡る島根

県の市民団体「島根原発・エネルギー問題県民連絡会」の要請書に対し、市長名で文書回答した。

中国電力との安全協定は、原子力規制委員会による号機の審査

2018.11.1
毎日新聞

が終わるまでに稼働の「事前了解権」を明記した内容に改定すべきだいう要請について、市は「鳥取県、米子市と連携して早期の改定を目指す」と従来通りの見解を示した。

連絡会の要請は▽自治体として中国電力の申請内容をチェックできる組織の設置▽原発に頼らない地域活性化策——と合わせた3項目。鳥取、島根両県の原発周辺自治体5市と鳥取県に同様の要請書を提出し、10月末までの回答を求めている。

【横井信洋】

紙面編集 島津 忠彦